



平成30年 12月16日(日)

12:00開演(11:00開場)

十四世喜多六平太記念能楽堂

料金:全席指定(税込)

S席 9,000円 A席 8,000円 B席 7,000円

C席(1階様敷席) 6,500円 D席(2階席) 6,500円

学生席(2階席) 2,500円(25歳以下、要学生証提示)

- ・午前11時15分より、本舞台にて当日の演目の解説をいたします。お気軽にご参加ください。
- ・当日券をご用意できる場合は午前10時45分より発売いたします。

主催:公益財団法人 十四世六平太記念財団

協力:喜多流職分会

後援:品川区、品川区教育委員会

助成:文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会



喜多流 自主公演

平成三十年十二月

富士太鼓 大島輝久
実盛 栗谷能夫

チケット予約購入のご案内

インターネット

喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>
(24時間対応、要登録・無料)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際画面に表示された番号をレジにご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。ご予約の際クレジットカードで先にお支払いを済ませていただくことも可能です。

② 喜多能楽堂事務局 窓口

クレジットカードでお支払いの上(ホームページでのweb決済)、ご予約の際に画面に表示された番号を窓口にご提示いただき、チケットをお受取りください。現金でのお支払いはできません。

電話予約

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813
(午前10:00～午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際お伝えする番号をレジにご提示の上、チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。

② 郵送

チケット代金と手数料を指定の銀行口座にお振込みください。入金確認後、簡易書留にてチケットをお届けいたします。

③ 喜多能楽堂事務局 窓口

ご予約の際お伝えした番号を窓口にご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金のみとなります。

窓口

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813
(午前10:00～午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

お支払いは現金のみとなります。

※お受取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。ご予約の際ご案内いたします。

※平成30年度公演の後半5回分は発売中です。

※ご予約いただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

ご注意

- ・開演中の途中入場はお断りいたします。
- ・未就学児童のご入場はご遠慮ください。
- ・やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
- ・許可なき写真・ビデオ撮影、及び録音はお断りいたします。
- ・客席での携帯電話やスマートフォンなど音や光の出る電子機器のご利用はお断りいたします。
- ・ロビー・見所でのご飲食はできません。2階ラウンジをご利用ください。
- ・喜多能楽堂は全館禁煙です。屋外喫煙所をご利用ください。
- ・お席を離れる場合は貴重品、お手回り品にご注意ください。盗難・紛失についての責任は負いかねます。コインロッカーもご利用ください。
- ・係員の指示に従っていただけない際には退場していただく場合がございます。

喜多流自主公演年間優待券

5枚綴り 35,000円

- ◆ご希望のどの席種でもお選びいただけるお得な年間優待券です。
- ◆お求めは喜多能楽堂事務局まで。各喜多流職分でも承ります。
- ◆ご観能の際は別途、座席指定券をご予約ください。
 - ・追加料金はかかりません。
 - ・ご予約は、インターネット、電話、窓口で承ります。
 - ・年間優待券のみでの観能はできません。
 - ・ご入場の際は、年間優待券と座席指定券をご提示いただきます。
- ◆ご利用は、表記年度中(4月～3月)の喜多流自主公演のみ有効です。青年能には使用できません。

自主公演観客席御案内



S席	9,000円	C席(1階様敷席)	6,500円
A席	8,000円	D席(2階席)	6,500円
B席	7,000円	学生席(2階席)	2,500円

会場案内図



JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分。目黒駅西口よりドレメ通りを直進。杉野学園体育館手前を左に入る。
※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車でのご来場はご遠慮いたします。

十四世喜多六平太記念能楽堂

〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9

TEL: 03-3491-8813 FAX: 03-3491-8999

喜多能楽堂ホームページ: <http://kita-noh.com/>

能

後シテ・齋藤実盛の霊
前シテ・老人 粟谷能夫

実盛

ワキ・遊行僧 殿田謙吉
ワキ連・從僧 野口琢弘
ワキ連・從僧 吉田祐一
アイ・篠原の里人 山本泰太郎

大鼓 佃良勝
小鼓 曾和正博
大鼓 三島元太郎
小鼓 杉信太郎

後見 塩津哲生
狩野了一

地謡 谷友矩 粟谷充雄
塩津圭介 長島茂
佐々木多門 粟谷明生
佐藤陽 金子敬一郎

休憩(二十分)

狂言

清水

シテ・太郎冠者 山本則孝
アド・主人 山本凜太郎

仕舞

猩猩々々

友枝昭世

地謡 谷大政 大川政允
香川靖嗣
松井彬

休憩(十分)

能

子方・富士の子 大島伊織
シテ・富士の妻 大島輝久

富士太鼓

ワキ・臣下 大日方寛
アイ・太刀持 若松隆

大鼓 亀井洋佑
小鼓 住駒充彦
笛 小野寺竜一

後見 中村邦生
友枝雄人

地謡 狩野祐一 高林呻二
友枝真也 大村康定
粟谷浩之 出雲雅信
佐藤寛泰 内田成信

終了予定時刻 三時五十分頃

実盛(さねもり)

所は加賀国篠原。遊行の上人の説法を、毎日熱心に聞く老人がいるが、その姿は上人以外には見えない。不思議に思つて名を尋ねると、篠原の合戦で討たれた齋藤別当実盛であると伝え姿を消す。
その夜、実盛の首を洗つたと言われる池のほとりで上人が回向している。老武者姿の実盛の霊が現れ、篠原の合戦について語り始める。戦後の義仲の前での首実検の様子。そしてさかのぼって出陣の様子を語る。若武者姿で死にたいと、白髪を黒く染め、平宗盛から贈られた赤地の錦の直垂で着飾つた実盛。木曾義仲を討つべく合戦で奮闘したが、手塚太郎に遮られて逆に討たれたことを語り、上人に回向を頼んで姿を消すのであった。

(約一〇〇分)

清水(しみず)

近頃世間では茶の湯が大流行、自分もお客を招こうと思ひ立つた主人は、茶の湯に良いと聞く野中の清水へ行つて水を汲んでくるよう、太郎冠者に命じる。一度くらいなら構わないがお客があるたびに行かされては困ると思つた太郎冠者は、清水で恐ろしい鬼が出て危うく食い殺されそうになりましたと嘘を言う。太郎冠者が放りだしてきた秘蔵の桶を取りに清水へ向かう主人、太郎冠者は鬼に化けて主人を脅そうと考える。

(約二十五分)

富士太鼓(ふじたいこ)

花園天皇の時代、内裏で七日間の管絃の催しがあった。天王寺の楽人である浅間が太鼓の上手として召されたところへ、これも太鼓の上手として知られる富士という住吉の楽人が自ら望んで都に上つて来た。浅間はそれを憎んで殺害をした。一方、富士の妻と娘は夫の安否を気づかつて都へ上り、内裏に赴いて官人から夫の死を知らされる。悲嘆のあまり狂気し、夫の形見の装束をつけ、太鼓の為に死んだのだから敵は太鼓であるといい、娘に太鼓を打たせ二人は涙にくれる。すると富士の霊が妻に取り憑き、恨みの太鼓を打ち、楽を舞う。そして恨みを晴らした妻は形見の舞衣を脱ぎ捨てて娘とともに故郷へ帰つて行くのであった。

(約八十分)

平成三十一年 一月自主公演番組予告

平成三十一年 一月六日(日) 正午始
十四世喜多平太記念能楽堂

高砂 友枝雄人
山姥 金子敬一郎